山下てつや通信 2024年 寿号



発行責任者:山下てつや 町田市議会 公明党 TEL:042-724-4028 FAX:042-724-4039 E-mail:tetsuva.vamashita1machida@gmail.com

町田市議会副議長に就任

3月定例会で議会人事の改選が行われ、議長に木目田英男氏が選出。山下てつやは副 議長に選出されました。市民目線に立った議会運営ができるよう、学びと議論を深めてまいり ます。どうぞ、よろしくお願いいたします。 山下てつや

小山田蓮田緑地 整備工事を開始

小山田蓮田緑地は、鶴見川流域の里山の風情が残る 風光明媚な場所に位置し、大賀蓮の魅力を活かし、自然 と水辺に親しめる憩いの場とすることで快適に過ごせる

観光名所・地域資源となるよう整「 備を進めます。来年7月の開園を ******* 目指し、工事が始まりました。



緑地整備と開園スケジュール



3月議会報告 市議会でフェーズフリーによる防災を提案

日常と災害時のフェーズ(局面)の垣根をなくそうという新しい防災上の概念である「フェ ーズフリー」。普段使っている商品やサービスを、もしもの時に役立てようという考え方です。 フェーズフリーをまちづくりや教育に活かした取り組みを先進的に行っている、鳴門市を視 察。事例を踏まえ、公明党会派が市議会でフェーズフリーによる防災を提案しました。

2024年度の新たな事業

市議会公明党が提案した新たな事業を紹介します。

ICT機器の高齢者見守り事業

2024年4月から、通信機能を有したLED 電球(ハローライト)を使用した高齢者見守り 事業を開始します。24時間、電球の点灯や消 灯の動きがない場合、事前に登録したご家族 等にメールでお知らせし、依頼に応じて委託 事業者が代理訪問します。

対象は、75歳以上の一人暮らしで、住民税 が非課税の方。利用料は月額1,078円ですが、 12カ月間は市が負担をします。

問い合わせ=高齢者支援課(724-2141)

多子世帯給食費の無償化

多子世帯の経済的負担を軽減するため、 2024年4月から町田市立小中学校に通う第 2子以降の児童・生徒の学校給食を無償化 し、子育て環境の充実を図ります。

未就園児預かり推進事業

東京都の事業を活用し、保護者の就労の 有無にかかわらず、保育園等を利用していな い0歳から2歳児の未就園児の定期的な預か りを行う事業者への支援を行います。

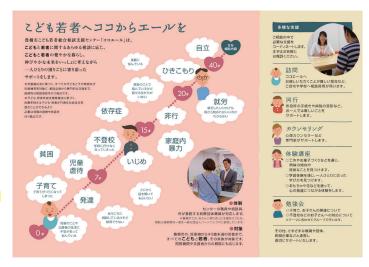
「町田市障がい者プラン21ー26」後期計画(2024~2026)を策定

「町田市障がい者プラン21-26」の後期計画では、主に重点施策や障がい者への各種サー ビスの見込量等について見直しを反映。1つ目の基本目標「地域での暮らしを生涯にわたって支 える仕組みつくる」では、障がい者雇用の促進や障がい重度化に対応するための相談体制の拡 充や人材確保の取り組み、2つ目も基本目標「障がい理解を促進し、差別をなくす」ため、法律等 に基づいて、障がいがある人の権利擁護の施策の実施が反映されています。

各地を視察

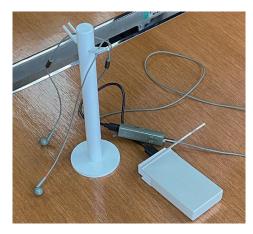
豊橋市こども若者総合 相談支援センター

こども若者相談支援に特化した施設である豊 橋市こども若者総合相談支援センター「ココエー ル」を視察しました。 0歳から40歳までの切れ目 ない子どもや若者、およびその家族に関する相談 から支援までを対応しています。



「軟骨伝導イヤホン」導入の狛江市を視察

高齢者や難聴者とのコミュニケーションを円滑にするため、市 役所窓口に「軟骨伝導イヤホン」を導入している狛江市を視察し ました。このイヤホンは、耳の周囲にある軟骨を振動させて音を 伝えるため、頭蓋骨を振動させる「骨伝導」と比べて装着時の痛 みが少なく、軽く当てるだけで利用できるため、使いやすくなって います。さらに、集音器とセットになっている上、雑音を取り除く機 能があり、小さな声もはっきりと聞くことができるため、難聴者の プライバシーの保護につながります。



静岡市 里親家庭支援センター



静岡市から里親支援業務全般を委託されてい る、NPO法人里親家庭支援センターを視察しま した。このセンターは、「里親制度の啓発」「養育力 向上のための研修」「養育に関する相談・支援」 を3本柱に里親支援を推進しています。静岡市の 里親委託率が全国一位であることや、一時保護 を里親が担う体制整備等、このセンターの支援は 注目を集めています。

山下てつや YAMASHITA Tetsuya 市議会公明党幹事長 公明党町田総支部 都市農業対策部長

昭和40年、東京都生まれ。青山学院大学経営学部を卒業後、新東亜交易株式会社 に勤務。平成18年、町田市議会初当選。妻と2男1女の5人家族。モットーは「現場第 一•対話第一」。下小山田在住。

地域実績報告











